

都立光丘 高等学校 令和7年度

教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 明解歴史総合 帝国書院 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】近現代の歴史について日本と世界との歴史的なつながりについて諸資料を活用する力を育成する。

【思考力、判断力、表現力等】近現代の歴史について諸資料を基に多面的・多角的に考察し、自身の考えを表現する力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】持続可能な社会の実現に向けて現代社会の抱える諸課題を歴史的視点から解決する姿勢を養う。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・身の回りの事象と世界の歴史が結びついていることを理解できる。 ・絵画・文書資料・統計データなど歴史における資料の重要性と、事象と解釈を分けて読み取るなどの適切な読み解き方について理解できる。 ・18世紀のアジアや日本・欧米の歴史的事象を交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料を比較したり、相互に関連付けたりするなどして国家間の関係を多面的・多角的に考察し、表現すること。 ・国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料から情報を読み取ったりまとめる技能を身につけること。 ・国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料から情報を読み取ったりまとめる技能を身につけること。 ・冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料から情報を読み取ったりまとめる技能を身につけること。	・身の回りの事象と世界の歴史との結びつきについて考察し、表現することができる。 ・18世紀のアジアや日本・欧米の歴史的事象を交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料を比較したり、相互に関連付けたりするなどして国家間の関係を多面的・多角的に考察し、表現すること。 ・国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料を比較したり、相互に関連付けたりするなどして国際秩序の変化や大衆社会の広がりなどを多面的・多角的に考察し、表現すること。 ・冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料を比較したり、相互に関連付けたりするなどして国際秩序の変化や大衆社会の広がりなどを多面的・多角的に考察し、表現すること。	・中学校までの学習を踏まえて、見通しを持って学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組むことができる。 ・近代化と現代的な諸課題について自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点から主題を設定し、追究したり課題を解決したりする。 ・国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題について自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点から主題を設定し、追究したり課題を解決したりする。 ・グローバル化に伴う現代的な諸課題について主題を設定し、諸資料を活用し探究する活動を通して持続可能な社会の実現に貢献することができる姿勢を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	2部 近代化と私たち 2章 欧米諸国における近代化 【知識・技能】 ・市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯について、資料を読み取り、理解する。 【思考・判断・表現】 ・市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し、みずからの言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・市民革命や産業革命が、現代社会に与えた影響と課題について、追究する。 定期考査	【指導事項】 2部 近代化と私たち 2章 欧米諸国における近代化 1. イギリスの革命とアメリカの独立 2. フランス革命～ヨーロッパ近代の幕開け 3. フランス革命の影響と国民意識の芽生え 4. 産業革命で変わる社会 5. イギリスの繁栄と国際分業体制 【教材】 ・明解 歴史総合(帝国書院) 上・下巻の活用	2部 近代化と私たち 2章 欧米諸国における近代化 【知識・技能】 ・市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 ・市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・市民革命や産業革命が、現代社会に与えた影響と課題について、追究しようとしている。	○	○	○	
1	3章 近代化の進展と国民国家形成 【知識・技能】 ・国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況について資料を読み取り、理解する。 【思考・判断・表現】 ・国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国民国家や帝国主義政策が、現代社会に与えた影響と課題について追究する。	【指導事項】 3章 近代化の進展と国民国家形成 1. 1848年～近代ヨーロッパの転換点 2. イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化 3. アメリカの拡大と第2次産業革命 4. 帝国主義と世界の一体化 4章 アジア諸国の動揺と日本の開国 1. 「西洋の衝撃」と西アジアの変化	3章 近代化の進展と国民国家形成 【知識・技能】 ・国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況について資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 ・国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国民国家や帝国主義政策が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○		1

学期	4章 アジア諸国の動揺と日本の開国 【知識・技能】 ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解する。 【思考・判断・表現】 ・「西洋の衝撃」の歴史的意義について、アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、みずからの言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究する。	2. 南・東南アジアの植民地化 3. ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争 4. 黒船の来航と日本の対応 5. 新体制の模索と江戸幕府の滅亡 5章 近代化が進む日本と東アジア 1. 新政府の誕生 2. 近代国家を目指す日本 3. 日本と清の近代化と日清戦争 4. 列強の中国進出と日露戦争 5. 日露戦争が与えた影響 【教材】 ・明解 歴史総合(帝国書院) ・一人1台端末の活用	4章 アジア諸国の動揺と日本の開国 【知識・技能】 ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 ・「西洋の衝撃」の歴史的意義について、アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○		
	5章 近代化が進む日本と東アジア 【知識・技能】 ・明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解する。 【思考・判断・表現】 ・明治維新の歴史的意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、みずからの言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究する。							
	定期考査				○	○		1

2 学 期	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1章 第一次世界大戦と日本の対応 【知識・技能】 ・国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解する。 【思考・判断・表現】 ・第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、みずからの言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追究する。 2章 国際協調と大衆社会の広がり 【知識・技能】 ・ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解する。 【思考・判断・表現】 ・新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追究する。 定期考査	【指導事項】 3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1章 第一次世界大戦と日本の対応 1. ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張 2. 総力戦となった第一次世界大戦 3. ロシア革命と大戦の終結 2章 国際協調と大衆社会の広がり 1. ヴェルサイユ体制の成立 2. 東アジアの民族自決の行方 3. 中東・インドの民族自決の影響 4. ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 5. 大衆社会の出現とアメリカの繁栄 6. 日本における大衆社会の形成 【教材】 ・明解 歴史総合(帝国書院) ・一人1台端末の活用	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1章 第一次世界大戦と日本の対応 【知識・技能】 ・国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 ・第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。 2章 国際協調と大衆社会の広がり 【知識・技能】 ・ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 ・新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○		
	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 3章 日本の行方と第二次世界大戦 【知識・技能】 ・世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 ・ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。 4章 再出発する世界と日本 【知識・技能】 ・冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 ・国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際秩序を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。 定期考査	【指導事項】 3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 3章 日本の行方と第二次世界大戦 1. 世界恐慌が与えた影響 2. ファシズムの台頭と拡大 3. 政党政治の断絶と満州事変 4. 日中戦争の始まり 5. 第二次世界大戦の展開 6. 戦局の悪化と被害の拡大 7. 第二次世界大戦の終結とその惨禍 4章 再出発する世界と日本 1. 戦後の新たな国際秩序 2. 冷戦の始まり 3. 日本撤退後の東アジア 4. 日本の改革と独立の回復 5. 3部のまとめ 【教材】 ・明解 歴史総合(帝国書院) ・一人1台端末の活用	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 3章 日本の行方と第二次世界大戦 【知識・技能】 ・世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 ・ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。 4章 再出発する世界と日本 【知識・技能】 ・冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 ・国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際秩序を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○		
				○	○			1
					○	○		1

3 学 期	4部 グローバル化と私たち 1章 冷戦で揺れる世界と日本 【知識・技能】 ・冷戦下の緊張と緩和の経緯と、そのなかでの日本の高度経済成長や、脱植民地化を目指す動きについて、資料を読み取り、理解する。 【思考・判断・表現】 ・冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・冷戦下における各国の動向が、現代社会に与えた影響と課題について追究する。 2章 多様化する世界 【知識・技能】 ・冷戦下の1960年代から80年代における各国の選択と経済成長について、資料を読み取り、理解する。 【思考・判断・表現】 ・各国の選択を比較し、「東アジアの奇跡」が起こった要因や世界史における意義について考察し、みずからの言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会に与えた影響と課題について追究する。 3章 グローバル化の中の世界と日本 【知識・技能】 ・冷戦終結の過程とグローバル化の特質について、資料を読み取り、理解する。 【思考・判断・表現】 ・グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点をみずからの言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・冷戦の終結とグローバル化の進展が、現代社会に与えた影響と課題について追究する。 定期考査	【指導事項】 4部 グローバル化と私たち 1章 冷戦で揺れる世界と日本 1. アメリカ・ソ連の緊張と緩和 2. 冷戦下における日本の復興 3. 第三勢力の形成と脱植民地化 4. 中東戦争とパレスチナ問題 2章 多極化する世界 1. 揺らぐアメリカと先進各国の変化 2. 「経済大国」日本の模索 3. 経済発展に取り組むアジア・南米諸国 4. イスラーム復興と冷戦への影響 3章 グローバル化の中の世界と日本 1. 冷戦の終結と変わる世界構造 2. 冷戦の終結が与えた世界絵の影響 3. 超大国アメリカと中東情勢 4. 国際環境の変化と日本 5. グローバル化による国際社会の変容 6. 4部のまとめ 【教材】 ・明解 歴史総合(帝国書院) ・一人1台端末の活用	4部 グローバル化と私たち 1章 冷戦で揺れる世界と日本 【知識・技能】 ・冷戦下の緊張と緩和の経緯と、そのなかでの日本の高度経済成長や、脱植民地化を目指す動きについて、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 ・冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・冷戦下における各国の動向が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。 2章 多様化する世界 【知識・技能】 ・冷戦下の1960年代から80年代における各国の選択と経済成長について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 ・各国の選択を比較し、「東アジアの奇跡」が起こった要因や世界史における意義について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。 3章 グローバル化の中の世界と日本 【知識・技能】 ・冷戦終結の過程とグローバル化の特質について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 ・グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点をみずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・冷戦の終結とグローバル化の進展が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	○	○	○	
				○	○		
				○	○		